

関東甲信地区各都県教育委員会教育長 様
同 各市町村教育委員会教育長 様
同 各 学 校 長 様
同 関 係 各 位

第45回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会
茨城大会 会長 森久美子

第45回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 茨城大会（第二次案内）オンライン開催

1 趣 旨

これまでの英語教育の実践並びに英語教育の現状を見直し、英語教師自らの資質向上と授業改善・充実を図り、関東甲信地区英語教育に寄与しようというものである。

2 主 題

グローバル社会を生き抜くために必要なコミュニケーション能力の育成
～伝え合う力を育むための段階的な指導等の工夫を通して～

3 主 催

関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 茨城県教育研究会英語教育研究部

4 共 催

群馬県小中学校教育研究会中学校英語部会 長野県英語教育研究会
栃木県中学校教育研究会英語部会 埼玉県英語教育研究会
千葉県教育研究会外国語教育部会 東京都中学校英語教育研究会
神奈川県公立中学校教育研究会英語科部会 山梨県中学校英語教育研究会

5 後 援

文部科学省 群馬県教育委員会 栃木県教育委員会 千葉県教育委員会
神奈川県教育委員会 長野県教育委員会 埼玉県教育委員会
東京都教育委員会 山梨県教育委員会 茨城県教育委員会 水戸市教育委員会
公益財団法人 日本教育公務員弘済会茨城支部

6 期 日 令和3年11月12日（金）

7 日 程 コロナ禍の状況を鑑み、Zoom ウェビナーでの開催といたします。 ※授業者への事前質問をもとに分科会を進行いたします。（11(2) 記載 HP を参照ください。）

9:10	9:45	10:00	10:20	11:10	12:00	13:00	13:50	14:40	16:00	16:10
受付	開会 行事	基調 提案	公開授業 分科会① (第1分科会)	公開授業 分科会②③ (第2, 3分科会)	昼食	公開授業 分科会④ (第4分科会)	公開授業 分科会⑤ (第5分科会)	記念講演 指導助言	閉会 行事	

※太枠内は、大会終了後、動画配信され、視聴可能となります。

期間は令和3年11月15日（月）～ 令和3年11月30日（火）といたします。

- 記念講演 「新学習指導要領における指導と評価」
講 師： 文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室
教科調査官 山田 誠志 氏

○ 公開授業（動画による提案 YouTube によるストリーミング配信）

第1分科会

授業者 水戸市立緑岡小学校 教諭 杉寄 祐斗
水戸市立緑岡中学校 教諭 川俣 梨恵
助言指導者 ひたちなか市教育委員会 指導主事 阿部 倫子

第2分科会

授業者 水戸市立常磐小学校 教諭 柏原 麻奈
助言指導者 水戸市総合教育研究所 指導主事 菅谷 智佳子

第3分科会

授業者 水戸市立第一中学校 教諭 久保田 奈緒
助言指導者 水戸市総合教育研究所 指導主事 菅谷 智佳子

第4分科会

授業者 水戸市立第四中学校 教諭 蓮見 宏明
助言指導者 笠間市教育委員会 指導主事 遠藤 正英

第5分科会

授業者 水戸市立赤塚中学校 教諭 綿引 昌子
助言指導者 那珂市教育委員会 指導主事 久保田 善徳

8 主題設定の理由

近年のグローバル化の急激な進展等により、世界の経済や社会はめまぐるしく変化している。日本国内においても、多文化共生の広がりとともに、外国語による異文化間コミュニケーションの必要性が強調されている。そのような中、2019年度に、新しい在留資格が導入されたことなどにより、今後さらに多くの外国人を受け入れていくことが予想される。「グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言」（文部科学省 平成26年10月）によれば、2050年頃の日本は、多文化・多言語・多民族の人たちが共存し、協調と競争する国際的な環境にあると考えられている。

このようなグローバル社会を、子供たちが生き抜いていくためには、外国語を話せるだけでなく、コミュニケーションを通して、互いの多様性を認め、自分の思いや考えを伝え合い、協働して問題を解決したり、新たな価値を創出したりする資質・能力を育むことが必要である。

そこで、本県英語研究部では、「グローバル社会を生き抜くために必要なコミュニケーション能力の育成」を本研究における主題として設定した。本主題で掲げたコミュニケーション能力を育成するためには、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編」が示すように「やり取り」や「即興性」を意識し、「伝え合う力」を育むための言語活動とその工夫が不可欠である。この点において、本県では、これまで、「やり取り」や「即興性」に重点を置いた言語活動に関する実践を進めてきた。その実践から、「伝え合う力」を育むためには、子供たちの発達段階に応じた、系統的かつ継続的な指導が重要と捉えている。また、学校段階間の接続を、より円滑に進めるためには、小・中学校における一貫した学習到達目標の設定とともに、段階的な指導及び評価を指導改善に活かす工夫が必要だと考えている。以上のことを踏まえ、「伝え合う力を育むための段階的な指導等の工夫を通して」を本研究における副題として設定した。

9 分科会テーマ・提案都県（動画による提案 YouTube によるストリーミング配信）

第1分科会 小中連携の実践的な取組

（千葉県・埼玉県）

提案者	流山市立南流山中学校	教諭	溝井 隆之
	所沢市立安松中学校	教諭	山井 葉里子
	つくば市立みどりの学園義務教育学校	教諭	吉田 圭介

【発表の概要】

小・中学校での外国語活動・外国語科の一貫した目標設定や、授業スタイルや教材の連携の在り方について提案するとともに、学年の発達段階に応じた系統的・継続的なコミュニケーション能力を育成するための段階的な指導の在り方について研究する。

提案者	みどり市立笠懸南中学校	教諭	渡辺 智哉
	真岡市立真岡中学校	教諭	塚田 邦彦
	芳賀町立芳賀中学校	教諭	篠崎 大輔
	常陸太田市立金砂郷中学校	教諭	横山 聖
	笠間市立岩間中学校	教諭	田口 愛
【発表の概要】			
小学校では、学校や地域など、自分の身近なことについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に分かりやすく話すための言語活動の工夫について研究する。			
また、中学校では、日常的・社会的な話題について、簡単な語句や基本的な文を用いて、事実や考え、などを整理し、まとまりのある内容として発表するための言語活動の工夫について研究する。			

第4分科会 即興で伝え合う力を育む指導の工夫

（長野県・山梨県）

提案者	高山村立高山中学校	教諭	片桐 園子
	市川三郷町立三珠中学校	教諭	小林 雄飛
	昭和町立押原中学校	教諭	清水 浩平
	常総市立水海道中学校	教諭	森 恵
【発表の概要】			
自分の思いや気持ちを即興で伝える力を養うために、コミュニケーションを行う目的や状況に応じた場面設定や、段階的・系統的な指導の工夫について研究する。			

第5分科会 パフォーマンス評価を活かしたコミュニケーション活動の工夫

（神奈川県・東京都）

提案者	川崎市立井田中学校	教諭	井上 百代
	葛飾区立立石中学校	主幹教諭	河野 光志
	神栖市立神栖第一中学校	教諭	荒原 聡
【発表の概要】			
実践的なコミュニケーション能力を育成するため、指導と評価を一体化した一貫性・整合性のあるパフォーマンス評価の在り方と工夫について研究する。			

10 提案者、指導助言者一覧（動画による提案 YouTube によるストリーミング配信）

	提案者	指導助言者
第1分科会	流山市立南流山中学校 教諭 溝井 隆之	千葉県教育庁東葛飾教育事務所 指導主事 南 弘三郎
	所沢市立安松中学校 教諭 山井 葉里子	所沢市立教育センター 指導主事 東村 広子
	つくば市立みどりの学園義務教育学校 教諭 吉田 圭介	つくば市教育委員会 指導主事 福澤 誉子
第2・3分科会	みどり市立笠懸南中学校 教諭 渡辺 智哉	群馬県教育委員会事務局東部教育事務所 指導主事 半田 敦子
	真岡市立真岡中学校 教諭 塚田 邦彦	真岡市教育委員会 指導主事 村上 正行
	芳賀町立芳賀中学校 教諭 篠崎 大輔	

	笠間市立岩間中学校 教諭 田口 愛 常陸太田市立金砂郷中学校 教諭 横山 聖	茨城県水戸教育事務所 指導主事 山田 朋哉 茨城県県北教育事務所 指導主事 斎藤 崇
第4分科会	高山村立高山中学校 教諭 片桐 園子 市川三郷町立三珠中学校 教諭 小林 雄飛 昭和町立押原中学校 教諭 清水 浩平 常総市立水海道中学校 教諭 森 恵	須坂市立墨坂中学校 教頭 櫻田 智也 都留市立禾生第二小学校 校長 立川 武 甲斐市立竜王北中学校 校長 依田 宏記 茨城県県西教育事務所 指導主事 木村 涼子
第5分科会	川崎市立井田中学校 教諭 井上 百代 葛飾区立立石中学校 主幹教諭 河野 光志 神栖市立神栖第一中学校 教諭 荒原 聡	川崎市総合教育センター カリキュラムセンター 指導主事 鬼頭 洋司 東京都教育庁指導部義務教育指導課 指導主事 早川 裕之 茨城県鹿行教育事務所 指導主事 金澤 泰治

11 当日までの流れ

(1) 参加申込について

参加の申込はホームページ上で行っていただきます。下のホームページアドレスより申込手続きを行ってください。※QRコードからもアクセスできます。

第45回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 茨城大会ホームページ 〈申し込み開始：9月1日(水)〉

https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kanburo45_ibaraki/

○申込につきましては、①茨城県の国・公立学校に勤務の方、②他県の学校および私立学校に勤務する方、③学生の方、④業者の方、⑤一般の方の分類となっています。

※ご自身の住所地での申込ではありませんのでお気を付けてください。

所属する学校または団体のご住所を入力してください。

○参加代金の支払いは、「銀行振込」のみとなります。なお、別途振込手数料が発生する場合は、ご負担をお願いいたします。

(クレジットカード、電子マネー等の決済は取り扱っておりません)

振込先は下記口座になります。

<振込先> みずほ銀行 東武支店 当座 7559216 東武トップツアー株式会社

○大会参加費 3,000円 (1校あたりの参加費になります。大会要項・報告書(CD-R)・資料代等を含む)

○申込締切日 令和3年11月1日(月)正午

○領収書のご依頼は上記ホームページ上にてお願いいたします。

なお、領収書の発行については、ダウンロードにて各自行っていただきます。



(2) 事前視聴について

①公開授業、県内提案、県外提案等のストリーミング配信

<http://kyoikuplaza-ibk.or.jp/kenkyukai/各研究部/>

検索の場合：「教育プラザいばらき」を検索エンジンにご入力ください。

→ (サイト内) 茨城県教育研究会→各研究部→関東甲信地区茨城大会「英語」へアクセスください。(関東甲信地区茨城大会「英語」をクリックしてください。)

特設ページにてストリーミング配信 URL を掲載して参ります。

各動画の視聴期間は下記の通りです。

令和3年11月1日(月)～令和3年11月30日(火)といたします。

②授業分科会における授業者への事前質問受付

授業分科会における授業者への事前質問は上記 HP からご入力ください。

③視聴後のアンケートの回答

①の動画視聴後の感想等の入力には、HP 内 QR コード、またはリンクからご入力ください。

※①、②、③に関しまして、閲覧のためのパスワードは申込の後に各自送付させていただきます。

(3) 当日参加について

①当日授業分科会に参加される先生方は、事前に動画を視聴していただきご参加ください。

②要項、指導案については、HP 内リンクからダウンロードにて各自行っていただきます。

12 お問い合わせ先

【茨城大会全般について】

第45回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 茨城大会事務局
水戸市立第四中学校 教諭 蓮見 宏明
〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町 1987-3
電話 029-247-5554
FAX 029-247-5925
電子メール hasumi.hiroaki@mail.ibk.ed.jp

※ 茨城大会当日連絡先

教育プラザいばらき
〒311-1125 茨城県水戸市大場町 933-1
電話 1 070-3246-6812
電話 2 070-3245-9883

【大会参加申込システムについて】

東武トップツアーズ(株)水戸支店
第45回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会 茨城大会係
担当者 粟野・小松・土屋
〒310-0803 茨城県水戸市城南 2-1-20 井門水戸ビル 6階
電話 029-224-6627 FAX 029-224-9253
電子メール kanburo45-ibaraki@tobutoptours.co.jp

*大会参加に関して、お電話での申込・変更は承っておりません。
お手数ですが、大会参加申込システムより申込・変更をお願いいたします。

その他お問合わせは、電子メールよりお願いいたします。

営業時間 平日 9:30～17:30 土日祝休業